

# 道内トップの外国船入港数を誇る 最北の港町。



## 稚内港

- 北防波堤ドーム
- 稚内駅と副港市場・街歩き
- 高台の稚内公園

日露戦争でサハリン南部が日本領となって以来、稚内港は重要な港として発展してきました。サハリンとの往来が途絶えた戦後も、国際貿易港としての地位は揺らぐことなく、2011年には外国貿易船の累計入港数で道内初の5万隻を突破しました。1995年にはサハリンとの間に定期航路が再開、北方圏への玄関口としての役割はさらに高まっています。



### 離島との往来で活気づくフェリー岸壁

2008年、中央埠頭に新たにオープンした国内フェリーターミナルは夏の間、利尻・礼文へ渡る観光客で大いに賑わいます。



港と駅と稚内公園 1

## 稚内港北防波堤ドーム

1936年、波よけ用に建設された全長427m、高さ13.6m、70本の円柱が連なる半アーチ型ドームです。

古代ローマ建築を思わせる世界的にも類のない構造物として北海道遺産に指定され、役目を終えた現在も港のシンボルとなっています。



北海道遺産



市民が集う北防波堤ドーム公園



食マルシェ風景



2012年に北防波堤ドーム前にイベント広場・交流広場を擁する**北防波堤ドーム公園**がオープンしました。



ちほく 稚泊航路記念碑

1945年の終戦の年まで、日本領だったサハリンの**コルサコフ**(日本名・大泊)へ、稚内から連絡船が就航していました。

OP34



### しおさいブロムナード

北防波堤ドームから延びる遊歩道。潮風を浴びながら爽やかな散策をお楽しみください。

ドームへの  
アクセス

- 徒歩 / 稚内駅から約500mで徒歩約7~8分
- 車 / 稚内駅から車で約3分